

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : ハワイ大学

留学期間 : 平成 27 年 8 月 22 日 ~ 平成 27 年 12 月 23 日

私は同志社大学の留学プログラムに参加してハワイのオアフ島にあるハワイ大学（University of Hawaii at Manoa）の語学プログラム HELPPROGRAM で 4 ヶ月間英語を勉強した。留学中はホームステイであった。私は一人暮らしのペルー人のホストマザーのお家でお世話になった。ルームメイトはいなかった。完全におばあちゃんと私の静かな 2 人暮らしであった。ハワイでは、ルームメイトが日本人学生同士や日系人ファミリーのホームステイが多い中、私のケースは極めて珍しいものであったと感じる。ホストマザーの英語はペルー訛りがあって初めて会った時は、本当に何を言っているか聞き取れなかったが、英語しか共通言語がないという環境で生活出来て、私にとっては非常に良かったことかもしれない。私は月曜日から木曜日に毎日 4 時間の授業を受けた。読解と文法と作文とスピーキングの授業だ。授業は日本で主流の講義形式なものではなく、積極的な参加が求められていた。思ったことは勝手に発言していく、このスタイルは嫌いではなかった。どんどん発言をしていこうという授業は積極的だった。クラスメイトはほとんど日本人で、まれに中国人、韓国人、ベトナム人とアジア系で占められていた。学内では、ONLY ENGLISH POLICY がルールとしてあったが、多くの日本人はこの規則を守っておらず、授業初日から日本語を使っていた。クラスメイトとしてその場にいた日本人の意識の低さに驚きを隠せなかった。おそらく日本人が多く在籍する語学学校などに留学した際は、結局は同胞で集まって安心感を得るといような目に余るような日本人の集団を目撃することが珍しくないのかもしれないと身をもって体験した。では、だからといって私もその一員になってよいのだろうか？ いやそれは間違っていると、もやもやした留学生生活第一週目。思い描いていたハワイでの留学生活とは全く異なったスタートを経験し、私が行ったことは、新しい友達作りだった。せっかくハワイに来たのだから、もっと英語をしゃべりたいし、色々な国の人と仲良くなりたいという思いからだった。ないなら自ら探し求め、そのチャンスを手にしなければと必死であった。探してみるとハワイ大学では留学生と現地の学生との交流を目的としたいくつかのイベントが開催されていたし、国際交流系のサークルも存在していた。おそらくどこに留学してもこういった交流を目的とした団体やイベントは存在していると思うので、積極的に探してみて、参加してみることはオススメです。まず私は Korean Culture Club のハンウルというサークルに所属した。ハワイ大学で韓国語を専攻している学生や韓国人の留学生や韓国文化に興味がある学生が集まってみんな交流を深めているサークルだった。当時日本人留学生は私だけであった。韓国人留学生は多かったが、韓国語を専攻している学生さんはアメリカの様々な州からハワイ大学に来ていて、韓国人やアメリカ人との交流は私にとって非常に刺激的だった。私自身、日本で韓国語の履修経験があったが、会話を流暢に行うには程遠いレベルであるためにメンバーのみなどとは英語での会話であった。最初はあまり私の英語は流暢ではなかったけどメンバーはとても私に親切にしてくれた。特に、サークルの会長の Rocky は本当に親切にサポートしてくれたし、彼女は韓国語

も英語も流暢でないただの日本人である私を受け入れてくれた素晴らしい会長であった。彼女との出会いがあったからこそこのハンウリでの生活だったと再実感している。後から聞いた話だが、日本人が所属するのはかなり珍しいことであつたらしい。日本人なら日本文化交流を目的としたサークルを探して所属するというのは、まず誰もが思い浮かぶことであろう。語学学校のクラスメイトの多くもそうしていた。あえて日本文化交流系のサークルに所属しないでもみるのも英語力向上の方法のひとつなのかもしれない。あと私が発見したのは、International Coffee Hourという企画だった。これは毎週金曜日の午後に図書館に集まってコーヒー片手に留学生とハワイ大学の正規生が交流するという学生が主催して行っているイベントであった。語学力には自信がなかったし不安であったが1人で図書館に行ってみた。ここで多くの留学生とハワイ大学の正規生に出会った。みんなの経歴や趣味を聞いていくだけでも非常に興味深かった。週末と一緒に遊ぶ友人もここで見つけた。もちろん私たちの共通言語は英語だ。そして私はこのイベントで私の留学生生活を最高に素晴らしいものにしてくれた2人のハワイアンボーイに運命的な出会いを果たした。彼らは私を彼らのコミュニティの輪に入れてくれた。週末遊ぶときはいつも彼らがいた。平日は放課後一緒に勉強した。彼らの日常を通して、いっぱい彼らの生活、文化を垣間見ることができ、英語を使うことに抵抗もなくなった。私は特別な友人を持つことが出来たからこそ、毎日がワクワクしたし、彼らとずっと分かちあいたがために英語の勉強にも一生懸命になれた。彼らとの出会いが私をより一生懸命にさせたし、きっとあの時の自分は本当にキラキラしていたんじゃないかなと思う。留学の終盤にもなれば、ハワイが大好きになつたし、彼らと別れるのが本当につらかった。最後にお別れをいう日は、ボロボロに泣いた。こんなに泣いたのは久しぶりだった。そして私は日本に戻ってきた。戻ってきて実感しているのは、自身の英語力の飛躍的な向上と心境の変化だ。まだまだではあることは重々承知ではあるが、それでもスッと英語が出てきて自分の英語力が向上していることが非常に嬉しくなつたしあるとき頑張つてよかったなと思う。また日本に戻つても、ハワイにいる友人、特にあの2人が元気になっているか、どうかということがいつも心の片隅に存在している。自分がこんなに素直に人の幸せを祈って、誰かのことを愛する事ができるなんて留学に行くまでは知らなかった。ちょっとしたことかもしれないが、私にとっては大きな変化だと思うし、留学に行ったからこそ出来た事だと思う。これからの人生においても非常に貴重な体験であった。ここで伝えたいことは、折角留学というチャンスを掴んだのなら、失敗を恐れず何でもチャレンジしてほしいということだ。頑張っている人のところには必ず結果が付いてくるはずであるし、ちゃんとその頑張りを見て評価してくれる人もいるはずだ。おそらく私の頑張りを受け、評価してくれたからこそ、あの2人は私を仲間として迎え入れてくれたのだろうと思うし、留学生活が充実したものになったのだろうと今になって感じています。すべての出会いに感謝したいです。またハワイの友人たちに再会する日を夢見て、日本でも語学の勉強を続けてさらに成長し続けたいと思います。